

# 北川かっぱの会

発行 北川かっぱの会

<http://homepage3.nifty.com/kitagawakappanokai/>  
<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

2010年4月25日

Vol. 83

八国山も

新緑きれいです  
号

4～8月までの予定を掲載しました



## 報告 北山公園「しょうちゃん池」の 掻い掘り(かいぼり)を実施しました

3月20日(土)、朝から晴れ気温も高めで絶好の掻い掘り日和となりました。主催者の東村山市(市職員のボランティアも含む)や北川かっぱの会、東村山二中科学部メンバー、投網師?の調布の飯島さん、カメの研究をしている明大農学部田村さん、トンボ類研究家のNPO バースの中川さん、また手賀沼水生生物研究会の藤森さんや井の頭かんさつ会の方々…など約50名の参加を得ることができました。

池の水は前々日の木曜日から抜き初め、一度水位の低い状態でしたが、「湧水」の流入が多く水位が上がってしまい、当日の朝よりポンプで排水したもののなかなか水位が下がりませんでした。そんな中、初めは大型のコイを初めとして魚の捕獲を開始しました。お昼前には排水ポンプも増設され、あっという間に「干潟」のような状態になりました。このような状態になると、おもしろいように魚類等を捕獲することができるようになりました(魚は池底のドロで苦しそうだっ



たが)。午後1時位まで約3時間にわたり魚類等の捕獲を行い、捕獲した魚等は計測後、隣接の池に放流しました（在来種）。今回の「掻い掘り」で捕獲した魚類等は、モツゴ 2254 尾、ギンブナ 525 尾、タモロコ 80 尾、トウヨシノボリ 37 尾、コイ 39 尾（60～70 cmクラス、最大全長 80 cm）、アメリカザリガニ（要注意外来物）36 尾、ス

ジエビ 34 尾、ミナミヌマエビ 1 尾、ドジョウ 6 尾、オイカワ 1 尾、オオクチバス（特定外来生物）3 尾（全長 44cm、42cm、37cm）、ワタカ 1 尾（全長 37cm）、ライギョ 1 尾、ヒメタニシ 97、ウシガエル（特定外来生物）2、ミシシippアカミミガメ（要注意外来生物）4、クサガメ 1、ヤゴ類（シオカラ 4、シオカラ属 1、コシアキ 12、オオヤマ 1）でした（魚等計測の飯島さん、ヤゴ同定の中川さん他ありがとうございました）。水を抜けきれなかったので捕獲した個体数以上のものが残っていたと思われます。

また、捕獲したオオクチバスの胃の内容物を調べたところ、ギンブナが出てきました（市役所提供情報）。調査結果を見ると 40 cmクラスの大型のオオクチバスがいたにもかかわらず、小さいオオクチバスはいませんでした。これは、放流されたもののみが生息し、池の底や岸辺の石積の状態等からバスは繁殖することができなかったと推測されます。



また、在来種が多かったのは幸いでしたが、本来いないワタカや外来種のミシシippアカミミガメ等がいるのは問題です。コイについても出生は不明ですが、最大体長 80 cm程度の個体が池にいたことは、池の生態系に悪影響を及ぼしていたと思われます。

今回の調査結果をふまえると、池の水を完全に抜けきることができなかったこと（今後の反省材料）、他の池では掻い掘り後、オオクチバス等を密放流する者がいる例が多いことから、今後も継続して「しょうちゃん池」を見守っていく必要があると考えます。今後、定期的に池の調査を行い、必要であれば何年か後に再度「掻い掘り」を行っていく必要があると感じました。また、外来魚の密放流防止策について検討し、実践していく必要があるのではないか、と考えます。今

回の掻い掘りは、準備段階から市役所とうまく連携をとっていくことができました。今後も市役所と連携しながら、北山公園の環境保全活動に取り組んでいきたいと考えています。参加していただいた皆さま本当に疲れさまでした。（清水）

※調査結果の詳細は4 / 1 7 付け「かっぱブログ」参照。

## 報告 ブラックバス防除セミナーを開催しました



3月6日（土）東村山駅前「サンパルネ」で「ブラックバス防除セミナー」を開催しました（主催；北川かっぱの会、後援；東村山市、協力；西武・狭山丘陵パートナーズ）。

セミナーではまず狭山公園「たっちゃん池」のブラックバス防除の取り組みについて、西武・狭山公園パートナーズ・狭山公園パークセンターの植木孝所長よりお話をいただきました。北川でのバスの増加を受け、池の流出口に「流出防止ネット」を設置したところ、豪雨時に1万匹の稚魚を捕獲するなど問題の深刻さを知るとともに、優れた効果を発揮したこと、北川かっぱの会との2回の魚類調査を実施したこと、その調査結果を踏まえると今後、強力なバス類（また外来種のカメ

類）の防除策を実施していく必要があることなど、とてもわかりやすい説明をいただきました。

続いて北山公園内「しょうちゃん池」の現状についても東村山市から報告がありました。

続いて、NPO 生態工房事務局長（全国ブラックバス防除市民ネットワーク理事）の佐藤方博さんよりご講演をいただきました。佐藤さ

んからは、外来生物による影響、被害、なぜブラックバスを防除していく必要があるのか、法律上の根拠、倫理上の問題など幅広い見地からお話をいただきました。また、都内での実施例、特に光が丘公園での「掻い掘り」実施例をお話いただきました。さらに狭山公園「たっちゃん池」で掻い掘りを実施した場合のシミュレーション、より効果的に実施していくための実施方法など、とても参考になるものでした。質疑応答の40分間には、次から次へと質問が出、「掻い掘り」の意義や実際について深く理解することができたと思います。

ご参加いただいた20名弱の皆さま、ご講演をいただいた皆様、ありがとうございました。（S）







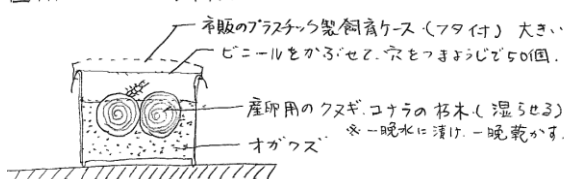
## 東村山産クワガタ・vol2

今回は東村山市内にはコクワガタ、ノコギリクワガタ、ヒラタクワガタ、スジクワガタの4種類が棲んでいることを書きました。今回はその中で一番大型のノコギリクワガタ(写真)のことに触れてみましょう。ノコギリクワガタは日本のクワガタの中でも比較的大型の種類で全長70mmを越すものもあります。大あごは大きく湾曲し、昔から子供たちに人気のクワガタでした。初夏に成虫として活動を始め、寿命は比較的短く、その多くは秋までに産卵行動を終え死んでしまいます。捕まえるには6月半ばから7月一杯が良いでしょう。8月に入ってから捕まえたものは比較的早く死んでしまいます。

さあ、市内にある雑木林に出かけてみましょう。まだ涼しい朝早い時間や、夕暮れ時に足を運べば、きっとクヌギやコナラの樹液に集まったクワガタ達に出会えるはずです。

運よくノコギリクワガタのオス+メスの両方を捕まえる事が出来たら、飼育して繁殖させるのも面白いです。飼いは図のようなセットを用意します。餌は果物をあげるよりも市販の昆虫ゼリーのほうが長生きする感じです。飼育する上で一番気をつける事は、同じ飼育ケースの中に他のオス+メスを入れない事です。けんかばかりして傷だらけになり、すぐに死んでしまいます。このようにセットしたケースで飼育し、9月位になってケースの中の朽木をそっと割ってみると、きっとノコギリクワガタの幼虫が入っています。多い場合だと1ケースから20匹以上の幼虫が出てくる事があります。幼虫の飼育は温度管理さえしっかりすれば、比較的簡単に成虫まで育てる事が出来ます。あなたも挑戦してみてもいかがでしょうか。

図解. クワガタ飼育.



※ 産卵木は本人の手首位の太さ。

※ オガクズも握ってダンゴになる位の湿り。



<2月> 2/14

私たちは第137回の川掃除をしました。第二土曜日が小雪混じりの雨天のため、翌日曜日になりました。天気は朝から陽の射す良い天気になりました。とは言え日陰にはまだ雪が残り、川に入ると水も冷たく、先月同様厳しい活動になりました。時間が経つに連れ、足感覚が麻痺してきて重く感じられ、危なく川底の石に躓きそうになることもしばしばでした。

<3月> 3/13

朝から春を思わせるような陽気でした。風も暖かく季節は完全に春です。水辺の草木も芽を出し始め、新鮮で艶やかな緑が綺麗でした。大雨が無いので、流れの緩い川底はドロが堆積。しかし、水量は程ほどにあり水そのものは綺麗なもので、北川の状態としてはまあまあでした。流れの幅が狭く水流の速い所では、まるで清流そのものでした。

善行橋下流の溪流ゾーンでは、益々川底が深く抉られ、ゾーンも上流に向かって拡大しているようです。自然の力は長い年月をかけて、流れに沿った地形を形作っていくものだという事を実感しました。

大関橋付近の上流域では、驚くばかりの沢山の小魚を目にし、本当に嬉しくなりました。

<4月> 4/10

北山小校庭沿いの北川が最も華やかな季節です。満開を過ぎた桜の花びらが頭上からヒラヒラと雪のように舞い散ります。大関から菖蒲田への取水が始まり、北川への水の流れは殆どありません。北山小正門橋の下の堰で何とか上流の水位が保たれている状態です。

大関橋下で大量の砂が堆積し、足を捕られ引き抜くのが大変なくらいでした。どこから砂が出てきたのか不思議です。

田んぼ脇や校舎脇の辺りで沢山の小魚を目にしました。春の陽気に誘われてか青大将もコンクリ護岸に姿を見せました。カワセミも見ることができました。



今月はビニール系のゴミが沢山ありました。コンビニ袋や菓子袋など、路上のゴミが春風で飛ばされて来たのか、暖かくなり出歩くゴミポイ捨て人間が多くなったのか、いずれにしても困ったものです。

北山小前の桜の下で

## **報告** 総会を開催しました

2月20日(土)、廻田公民館で総会を開催しました。2010年度の重点的な活動方針として、①流域のブラックバス防除対策(掻い掘り等)の推進、②環境学習の内容を充実(備品の購入、学習内容の充実等)させ次世代の育成を図る、③継続して環境調査を実施し、データを基に流域の環境保全を推進していく、が提案されました。

これら①～③の課題を解決していくために、④流域のみどりの保全と北川の水量確保等の問題解決のために「川端会議」や「狭山三公園懇談会」等に積極的に参加していくこと、⑤情報発信力を強化(環境情報版の設置や「北川流域の環境を守ろう」ネームプレート、夏まつり告知用垂れ幕の作製等)していくこと、⑥関係団体との交流、連携を図り、併せて⑦財務体質の改善を行っていくことが提案されました。

ほぼ原案どおり承認されましたが、特に意見があったのは以下の点です。

①ブラックバス防除対策について、掻い掘り後は定期的(年1回程度)な魚類調査の実施や密放流防止策の検討をしていく必要があること等、②環境学習について、保護者や八国山たいけんの里との連携策を強化する必要があること、③環境調査の実施では外部の力(中、高校のクラブなど)を借りていく必要があること、④「川端会議」や「狭山三公園懇談会」等に積極的に参加し、狭山公園内北川の親水化について具合的に提言(イメージ図の作成)を行っていくことやアユを北川まで遡

上させるために落差工の解消について再度提言を行っていく必要があること、などの点です。09年度活動報告、10年度活動方針については、ホームページをご覧ください。(S)



## **報告** 八国山公園懇談会



2月21日(日)、第1回 都立八国山公園懇談会に参加しました。

公園の指定管理者の西武・狭山丘陵パートナーズの主催で、日頃八国山で活動している団体、地域の住民の方や関係行政機関が参加し、より良い八国山公園にしていこうという趣旨で行われました。

午前中は実際に現地を見学し、アカマツの再生への取り組みを始めいくつかの取り組みや問題点等について説明を受けました。

午後は多摩湖ふれあいセンターで、公園管理運営についての意見交換です。管理運営のコンセプトとしては、「歴史・人・自然をつなげる里の道」＝里山の価値を次世代につなげる、ということで全員で共有化しました。そして、ワークショップ形式で各人・各団体の意見や要望を伝えました。

かっぱの会は北川の清流復活と流域の緑の保全のための活動を行っていま

すが、八国山は北川にとって貴重な水源林であるとともに、流域の生物多様性の核として大変重要な場所です。今後このような場が持たれる予定なので、かっぱの会としても積極的に参画したいと考えます。(N)

## **報告東村山市みどりの楽校**

### **「野鳥観察会」**

2月14日(日)、かっぱの会が協力しているみどりの楽校の野鳥観察会が、八国山・北山公園で行われました。

見通しの良い冬の雑木林はバードウォッチングには最適です。ルリビタキ



(写真) やシロハラなど冬鳥達もいろいろやって来て、参加者に姿を見せてくれました。

オオタカも一瞬ですが観察することができ、今年も多く鳥達の姿

を楽しむことができました。

しかし、気になることもありました。特定外来種のガビチョウ・ソウシチョウが異常に多いのです。在来の生態系に与えるダメージが懸念されます。(N)

## ————2010年度 4月～8月

## 活動スケジュール————

### **東村山市「みどりの祭典」**

4/29(祝) 10～15:00 東村山中央公園；みどりの楽校の活動内容を紹介する展示あり

### **定例川そうじ 毎月第2土曜 9-11 時**

5/8, 6/19, 7/10 集合：北山小正門前

➡ 6月のみ第3土曜日

### **川端会議**

5/15(土) 10～12:00；ふるさと歴史館北山公園周辺の環境整備について、市、市民、市民団体の話合いの場。誰でも参加可能です。

### **第29回 春の北川クリーンアップ**

5/16(日) 10～12:00

軍手またはビニール手袋、長靴着用  
集合：北山小西門または精進幼稚園北側勝陣馬橋；雨天中止

### **全国の身近な川の一斉調査**

6/6(日) 9～12:00 頃 北川と前川、10箇所の水質を調査。併せて水底生物の

調査も行います。9:00 かっぱ亭集合  
分析は10:30 頃より廻田公民館で。雨天決行

### **北山わんぱく夏まつり**

8/1(日) 10:00～16:00 を予定

### **夏まつり実行委員会**

6/19(土) 16～17:00 MARU 茫々亭

7/17(土) 14～16:00

### **土曜講座**

北山小・ヤゴ救出作戦

5/29(土) 9:30～12:00 雨天:5/30

北山小・ホタル観察会

6/19(土) 18:00～20:00

狭山公園管理事務所前集合、雨天中止

富士見小・南台小・八国山虫取りハイク

6/19(土) 10:30～14:00 雨天中止

北山小・八国山虫取りハイク

7/24(土) 午前5:00～7:30

北山小集合、雨天中止

**かっぱ定例会** 6/19(土) ➡次頁参照

## インフォメーション

### —— 寄付金御礼 ——

昨年7月に一橋大学エコサークル「環兵衛」から寄付をいただきました。会ではこのお金でフィールドスコップ用アイピース(下図)や長靴を購入するとともに環境学習、夏まつり経費として使わせていただきました。大変助かりました。

環兵衛の皆様本当にありがとうございました。

寄付いただいた金額 10万4240円  
支出金額 10万4719円



### 北川かつぱの会 会議日程 定例会 6月19日(土)

14:30~16:00 頃 (MARU 茫々亭)

7月~9月頃の活動予定を中心に検討します。会員の皆様参加ください。春から夏へかつぱの季節です。応援よろしく!

### ●編集後記

八国山が新緑の淡緑でいっぱい、一番きれいな季節です。みどりを楽しみたいです。今号は内容豊富で原稿を削るのに苦労しました。執筆者の皆様ごめんなさい&深謝。(遊星歯車)

発行 北川かつぱの会 東村山市野口町  
TEL 042-395-7705 渡辺

## かつぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方(参加、入退会自由)を広く募集しております。●会費 年間3000円。「かつぱ通信」(年5回)をお送りします。

### ●問い合わせ・申込み先

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

### ●会費振込先

上記へ現金書留または

[郵便振替 00120-6-104476]

[りそな銀行東村山支店(普)]

3605694]

加入者名 北川かつぱの会

\*\*\*\*\*

かつぱ通信は市内の公民館と図書館に置いてあります。

\*\*\*\*\*

### 『未来の川へ・北川復元プラン』



北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価1000円 送料390円

### 『北川流域マップー未来の川へー』

北川公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。A2両面版 頒価200円

\*\*\*\*\*

本誌についての問い合わせ先

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>